

【テーマ】「with コロナ、 after コロナ時代の図書館サービスについて語ろう」 【主催】図書館分科会

活動報告

日 時：2020年6月26日（金）13:30 - 15:00

場 所：オンライン座談会

出席者：57名

1. 研究内容

今回は「with コロナ、afterコロナ時代の図書館サービスについて語ろう」をテーマに掲げ、オンライン座談会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐための、日常業務における大きな変化や課題等について情報交換を実施しました。電子リソースへの学外からのアクセスについて、ガイダンスについてや消毒について等、各会員校の取り組み事例に基づく意見交換の場は大変、有意義な機会となりました。

2. スケジュール

13:30 座談会開始
・2020年度活動について
・事務連絡

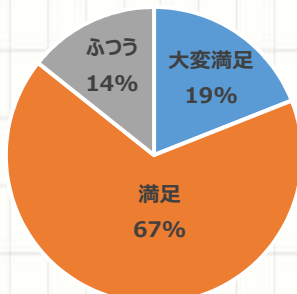
「with コロナ、afterコロナ時代の図書館サービスについて語ろう」をテーマに掲げ、本テーマについて、また、皆様に回答いただいた以下アンケートを題材として情報交換会を実施しました。

- コロナ禍における図書館運営の現在の課題について。
- コロナ禍における図書館運営の今後の課題について。
- その他（上記以外の事項について）要望や情報共有について。

15:00 座談会終了

3. アンケート結果について

■本日の「プログラム内容」について満足度をお選びください



- ✓ 大変満足にならなかった理由は、参加者と個別で会話ができないから。(システム上不可能は承知の上です)
- ✓ いろいろと情報共有ができてよかった
- ✓ 手軽にしかも多くの大学の方から情報をいただけたので。
- ✓ 1つ1つを掘り下げてもっと聞きたいと思いました。特にe-DDSなど。
- ✓ 現状の課題を共有できた。
- ✓ 他大学図書館で行っている取り組みについて知ることができ参考になったから。
- ✓ もう少し、本学が取り組んでいない他大学の事例を知りたかったです。(学内で参加しているので、話すことができる内容も限られるとは思いますが)
- ✓ 事前の質問内容に従って進行された点が良かったです。
- ✓ コロナ対策について他大学図書館のみなさんと情報共有でき、参加してとてもよかったです。とても満足しています。
- ✓ コロナ禍における他大学の取り組みが知れたことが一番大きな理由です。内容的には私と直接関係しないことではありましたが、本学の図書館にとっては非常に有用な情報であったと思います。
- ✓ 他大学も本学と同じような状況だったので安心した。著作権の話は参考になった
- ✓ 各大学独自のコロナ感染症対策を知ることができた。
- ✓ コロナに対応する業務体制を敷いているが、それで過不足はないのか不安を抱えていたが、他大学さんの事例をお聞きしとりあえず安心したので。
- ✓ オンライン座談会が初めてだったので不安もあったが、対面で情報交換を行うのと変わりなく他大学の事例を聞くことができた。
- ✓ オンラインとはいえ、不自由はなかったです

■今回の座談会を、どのくらい他の人に推奨したいと思いますか？ 0(お薦めしない)～10(お薦めしたい) またその理由をお聞かせください

【NPS (Net Promoter Score)とは】

測定方法は推奨者(10,9点)、中立者(8,7点)、批判者(6点以下)に分け、回答者全体に占める推奨者の割合(%)から、批判者の割合(%)を引いた値がNPSのスコアとなります。結果としては数字が大きいほど良いイベントと評価されます。



- ✓ 知らない内容をすぐに調べることができるから。
- ✓ 移動しなくていいので今まで複数人で参加できなかった人も参加できていい
- ✓ 手軽、良い情報が得られる、他大の方との交流機会
- ✓ ユーザーでなくなってから参加するのが初めてだったため、挙手してお話しするのは緊張しました。
- ✓ 業務で関わる方に参加いただければよいと思います。
- ✓ 他大学の取り組みについて知ることができるから
- ✓ 手探りの状況でしたので、他大学の事情を生々の声を聴くことができたため。
- ✓ 運営委員の進行が素晴らしいです。
- ✓ もっと多くの参加館の方からサービスの状況をお伺いできればと思いました。
- ✓ コロナ対策は今まで自館のスタッフで話し合いを重ね、対策を考えてきました。今回のように他大学の図書館の方と話す機会がないためとても貴重な機会でした。
- ✓ コロナ禍では他大学の事例がとても参考になると感じるから。
- ✓ 参加者が多いと座談会にならないので、慎重に。
- ✓ 各大学独自のコロナ感染症対策の知見の情報共有が必要であるため。
- ✓ 初めての参加、しかもweb会議ということで、比較対象のしようがなく曖昧な評価しかできない。
- ✓ 意見交換、情報共有の場として効果的であると感じたため。
- ✓ 有意義な情報交換ができました

■本日の座談会を実施して、開催テーマに対して得られた研究成果(疑問や課題等含めて)をお書きください。

- ✓ 今後の運用に関してもおおよそですが方向性が見えた
- ✓ 著作権に絡んで苦労されている点が多い。コロナ禍対応は各大学様々である。もっと情報共有してよい方向を模索したい。
- ✓ 開館利用やレファレンスについての対応はどの大学さんも状況や対応が似ていたこと。著作権、e-DDSについては自館でもっと話を掘り下げたいと思ったこと。
- ✓ e-DDSについて具体的に運用等知りたい
- ✓ 著作権35条の件。話題に上がってよかったです。
- ✓ 感染症対策についての予備知識ができた
- ✓ 各大学図書館の取り組み状況の確認
- ✓ 図書館の全面サービス開始は先になるという印象を持ちました。
- ✓ 他大学で行われている対策、サービスについて自館でもできることはないか考えること、また、今後のサービス(e-DDSなど)についても具体的に考えるきっかけを得られました。
- ✓ 業務をしながらであったため半分ほどしか確認できておりませんが、分科会の進めの方が参考になりました。
- ✓ コロナ対応というよりも今までやらなかったことを始めるきっかけがコロナという感じがした。
- ✓ コロナ感染症対策としての非来館型サービスの展開の必要性
- ✓ 今現在、大学図書館として考える取り組みの共通認識が得られた
- ✓ 各大学取り組みを行っているが、提供しているサービスにあまり差は見られなかった。しかし、サービスの開始時期は大学によって差が見られたため、今後はさまざまなコンテンツを前もって用意することで柔軟意対応を行うことができると感じた。
- ✓ コロナ対策で皆さんよく頑張っていると感心しました

■次回以降取り上げて欲しいテーマがあれば教えてください

- ✓ O P E Nサイエンスに向けて電子ジャーナルやR Dの運用について
- ✓ 著作権（電子）はよいテーマでは。図書館システム最新事情（新機能、今後の展望）システムと図書館職員の関わり（図書館にシステム担当者は必要か？）
- ✓ e-DDS
- ✓ 著作権関連やeDDSについて
- ✓ afterコロナとなりますが、新たにオープンした図書館があれば見学させてほしいと思います。
- ✓ 引き続き今回と同じテーマを取り上げてほしいです
- ✓ 今年度は少しずつテーマを変え、コロナ禍に関することや、リモートワーク、大学での働き方などをテーマとするといいかと思います。
- ✓ 在宅勤務を継続しながらできる業務改善。業務軽減。高サービス。
- ✓ 今後の電子的情報サービスの展開について
- ✓ コロナ対策、WEB授業の課題

4. 参加校 [14校26名] ・参加企業[2社31名] ・参加総数[57名]

愛知大学[1] 神田外語大学[1] 京都産業大学[1] 共立女子大学[2] 神戸学院大学[1] 順天堂大学[2]	中央大学[4] 東京都市大学[3] 東洋学園大学[1] 新潟工科大学[1] 明治大学[1]	立正大学[3] 龍谷大学[2] 流通経済大学[3]	インフィニテック[1] 富士通(株)[30]
---	---	---------------------------------	---------------------------

5. 所感

- ・短い時間の中で、様々な情報共有を図ることができた。
- ・アンケート結果から、E-DDSや著作権への関心の高さがわかり、次回以降のテーマとして検討する。
- ・座談会の参加人数が多いと双方向での意見交換が難しいため、グループ分け機能のあるツール（Zoomなど）の使用を検討する。
(図書館分科会運営委員)